

【事例101】「"もったいない"！食品ロスを減らしましょう！」

【事例】 歓送迎会が続き、満腹感が抜けない。決まりきったから揚げなどはあまり食べられず、会の終わりには手つかずの食品がかなり残っている。テレビでは、満腹に食べられなくて困っている人のニュースが放送されており、後ろめたい気持ちになる。【20歳代・女性】

【対処法】 ① まだ食べることができるのに捨てられてしまう食品のことを「食品ロス」といいます。② 食品ロスは、その半分以上が家庭から出されているそうです。③ 日本はカロリーベースで考えると、食料自給率は38%しかありませんでした。(H28年度)。④ 一方で食料を輸入しながら、他方でまだ食べることのできる食品を廃棄するのは大きな矛盾で、“もったいない”と言わざるを得ません。⑤ 食品を無駄にしないためには、賞味期限と消費期限を賢く管理し、「もったいない」を意識して行動するようにしましょう。

※何か問題が起こったら企画課の消費相談窓口で相談しましょう。